

# SHOW HEY シネマール

★★★

## セザンヌと過ごした時間

2016年・フランス映画

配給/セテラ・インターナショナル・114分

2017 (平成29) 年9月30日鑑賞

シネ・リーブル梅田

### Data

監督: ダニエル・トンプソン  
出演: ギヨーム・ガリエヌヌ/ギヨーム・カネ/アリス・ポル/デボラ・フランソワ/フレア・メーバー/サビーヌ・アゼマ/イザベル・カンドリエ/ローラン・ストーケル

### ■ショートコメント■

◆今秋はなぜかセザンヌ (本作)、ゴッホ (『ゴッホ最後の手紙』)、ロダン (『ロダン カミエと永遠のアトリエ』) 等の芸術家を主人公とした映画が次々と公開される。本作は画家セザンヌと作家ゾラとの友情を描いたものだ。

今では2人とも有名だが、同時期に生まれ親友だった2人の「出世レース」は全く異なり、ゾラが断然先行。セザンヌは大きく後れを取ったらしい。そのため子供時代は大の親友だった2人の間には、ある時期から秋風が吹き始めたらしいが、そりゃ仕方なし。なるほど、なるほど・・・。

◆公式ホームページに見る本作のイントロダクションは次の通りだ。

ピカソに「我々の父」、マティスに「絵の神様」と崇拜された、画家ポール・セザンヌ。リンゴを描いた静物画や、生まれ故郷である南仏の風景画は広く愛され、その作品は今も世界中の美術館に飾られている。だが、セザンヌが現在の不動の評価を得たのは、亡くなった後のこと。その「不遇の天才」には、共に支え高め合うライバルがいた。不朽の名作『居酒屋』『ナナ』の小説家エミール・ゾラ。名画と小説に隠された、40年にわたる、激しくも美しい友情が今、明かされる――。

◆また、公式ホームページに見る本作のストーリーは次の通りだ。

少年時代に会ったセザンヌとゾラの絆は、境遇は違いが芸術家になる夢で結ばれていた。ひと足先にパリに出たゾラは、小説家としてのデビューを果たす。一方、セザンヌもパリで絵を描き始め、アカデミーのサロンに応募するが、落選ばかり。やがてゾラは、ベストセラー作家となって栄光を掴むが、セザンヌは父親からの仕送りも断たれ転落していく。そして、ある画家を主

## 人公にしたゾラの新作小説が友情にひびを入れるが…。

◆私は今年4月18日、徳島県鳴門市にある大塚国際美術館を見学し、そこでセザンヌの絵画をしっかり鑑賞したから、本作の理解はバッチリ。他方、ゾラの小説は大学時代に『居酒屋』を読んだ程度だが、この2人の間にこんな友情物語と人間物語があったことを本作で初めて理解。それはそれでよかったが、映画としては、ヴォルフガング・ベッカー監督の『僕とカミンスキーの旅』（05年）のような面白さはなく、イマイチ・・・。

2017（平成29）年10月10日記